

2008年7月11日
イオン株式会社
イオンモール株式会社

10月初旬、埼玉県越谷市に 国内最大級で最新の“エコ・ショッピングセンター” 「イオン レイクタウン」誕生

従来型SCと比べ、20%以上のCO₂排出削減を実現します。

【イオン レイクタウンの立地】

「イオン レイクタウン（以下当SC）」は、埼玉県越谷市において都市再生機構（UR）が開発を進める「越谷レイクタウン」の商業拠点として出店するものです。「越谷レイクタウン」は約40万m²の広さを有する調整池の水辺に、約2万2千人が住む集合住宅や戸建住宅、遊歩道、公園など、水と緑に囲まれた日本最大級の街づくり事業です。当SCは、埼玉県南東部の幹線道路「東埼玉道路」に接しているほか、今年3月に開業したJR武蔵野線「越谷レイクタウン駅」に隣接し、電車でのアクセスにも恵まれた立地です。

「越谷レイクタウン」は、環境省の「街区まるごとCO₂20%削減事業」初の取り組みとして、「エコ」をキーワードに街づくりそのものが進められています。当SCは、この「エコタウン」を構成する主要施設として、地域の皆さんとともにエコを楽しめるコミュニティづくりを目指します。

（参考）「街区まるごとCO₂20%削減事業」…新規市街地開発や再開発などが行われるエリアにおいて、ディベロッパー、地権者、自治体等が協調し、CO₂の大幅な削減をもたらす対策をエリア全体に導入する事業に対して、環境省が補助する制度。

越谷レイクタウンは2006年、他の事業とともに、初の同モデル事業として採択されました。

【イオン レイクタウンのコンセプト】

コンセプトは「シゼンに心地いい、ワタシに心地いい」。

当SCは、国内商業施設として最大級かつ最新のエコへの取り組みを行うと同時に、ユニバーサルデザインの創造にも努めています。今後のSCの指標となるような、お客様の誰もが安心して楽しく過ごせる施設を目指します。

【イオンの“エコストア”としての取り組みについて】

当SCは環境に配慮した技術や仕組みを体系的に採用したイオンの“エコストア”です。環境先進国日本を支える国内各メーカーとともに、CO₂排出量の削減や省エネルギーの実現に向けて、新しい試みをふんだんに採り入れております。

〈取り組みの一例〉

1. オリンピックプール4面分の広大なソーラーパネルの設置

国内商業施設最大の総面積約4,000m²に及ぶソーラーパネルを設置し、年間約41万kWhの太陽光発電を行います。

ソーラーパネルは主に京セラ株式会社の製品を使用します（次頁の写真参照）。

◆ 「イオン レイクタウン」に設置を進めているソーラーパネル



2. 国内初の「ハイブリッドガスエコシステム」導入

天然ガスを利用し、従来のエネルギー効率1に対して、約2.6倍ものエネルギーを利用できる画期的なシステムです。株式会社日立製作所による当システムは、天然ガスをエネルギーとして、ガスエンジン発動機を稼動し、電気と廃熱を取り出します。電気は店内の照明や高効率のターボ冷凍機に使用します。廃熱は店内の冷暖房に活用します。

3. ショッピングセンター全体が「エコアートミュージアム」

当SCでは、訪れるお客さまに「エコ」を身近に楽しんで感じていただくために、「ゴミ」や「再生品」を素材にした作品など、地球や自然の大切さをテーマにした「エコアート」をSC内に常設展示します。国内外のアーティスト12組（予定）が、絵画やオブジェ、写真など、それぞれの「エコ」の視点を盛り込んだ作品で参加します。また、SC内で、アーティストと共にエコアートづくりを体験できる「エコアート・ワークショップ」も企画しています。

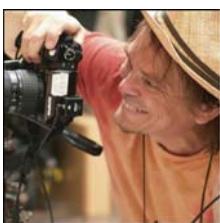
〈アーティストのご紹介（一部）〉



ヒース・ナッシュ/Heath Nash

- ・ 廃材アーチスト/プロダクトデザイナー

南アフリカ出身。アーティストとしての評価が高いだけでなく、南アフリカの伝統的な技術を用い、現地の人々の雇用機会の創出にも貢献しています。



ブルース・オズボーン/Bruce Osborn

- ・ 写真家

1980年から日本での活動を開始。1982年から始めたライフワークの「親子」写真は、今年で25年を迎えます。1993年にカンヌ映画祭広告部門で受賞するなど数多くの受賞歴もあります。



リビングワールド/Living World

- ・ プランニング・ディレクター／ウェップデザイナー

プランニング・ディレクターであり、多摩美術大学などで教鞭も取る西村佳哲氏と、ウェップデザイナー兼アートディレクターである西村たりほ氏が結成する、アーティストユニット。最新のテクノロジーで地球や自然についてシンプルに語りかけます。



さとうかよ/Kayo Sato

- ・ 現代美術作家

不要のぬいぐるみをリユースしたオブジェで国際的にも評価が高い人気のアーティストです。

4. 国内最大級のエコイベント「レイクタウン・エコウィーク」の開催

当SCでは、越谷市や地域の事業者・団体の皆さんと共に、街全体で「エコ」を楽しみ、知り、学び、参加し、生み出すイベント「レイクタウン・エコウィーク（仮称）」を11月上旬（予定）に開催します。「イオン レイクタウン」施設内はもちろん、駅前の「見田方遺跡公園」やレイク（調整池）周辺も含めての開催を予定しております。

5. 「レイクタウン油田プロジェクト」を始動

SCから出る廃油をバイオディーゼル燃料として再利用する「廃油リサイクル運動」を行います。また、お客さまからも使い終わった油をお持ちいただき、「レイクタウン油田プロジェクト」として、地域の皆様と共に廃油のリサイクル運動を推進します。

6. 「未来のエネルギー standpoint」 電気自動車の高速充電ステーションを設置

国内商業施設として初めて電気自動車や電動バイクに対応した高速充電ステーションの設置を予定しています。

7. シャトルバスに“ハイブリッド”を導入

JR「越谷レイクタウン駅」と当SCを結ぶシャトルバスには、ハイブリッドバスを導入します。

※ 上記以外のエコ活動を含め、“エコストア”の詳細につきましては、後日改めてご案内いたします。

【S Cの概要】

「イオン レイクタウン」には2つのエリアがあります。ひとつは「KAZE (風)」。もうひとつは「MORI (森)」。どちらも、越谷レイクタウンを象徴する「自然」のエレメント（要素）を名称にしました。それぞれのエリアは、2階部分において、ムービングウォーク（動く歩道）が設置された「(仮称) センターブリッジ」でつながります。

○ 「レイクタウンゲート」

JR「越谷レイクタウン駅」改札口を出てすぐに「イオン レイクタウン」はお客様をお迎えいたします。レイクタウンゲートから「KAZE」につながります。

○ 「KAZE」

国内初の「トライアングルモール（三角形のモール）」に、(株)マイカルが運営するファッショング専門店の「ビブレ」と(株)マルエツが運営する食品スーパーの両核店舗、シネコン、家電、スポーツ用品等の準核店舗、そのほか20代・30代の方に人気のある最新のアパレル専門店や飲食店等を中心に構成し、流行の「風」が吹くトレンド発信地を目指します。

(株)マルエツ運営のスーパーマーケットがイオングループS Cへ出店するのは初めてです。

○ 「MORI」

家族それぞれのこだわりや新しいライフスタイル提案をしていく「MORI」。全長が400mを超える国内最長のモールに、核店舗の総合スーパー「ジャスコ」のほか、大型ビューティーゾーン、オートモール、家電などを準核店舗に配置します。また、小川が流れる屋外施設部分（アウトモール）も併設し、自然環境を意識した「心地いい」空間を目指します。

※ S Cに出店する専門店、核店舗の詳細等につきましても、後日改めてご案内いたします。

【イオン レイクタウンのロゴマーク】

各エリアの名称を象徴的に描いた「風」と「森」、それに「湖」を象徴する「水鳥」の、3要素のピクトグラム（絵文字）で構成されています。エコを強く意識した「イオン レイクタウン」ならではのロゴに仕上げました。この三角形に配置されたピクトグラムの位置関係はそのまま湖（調整池）と当S Cの2つのエリアの位置関係を示しています。

また、今後、“エコストア”の「AEON」ロゴマークには、この緑色のロゴマークを使用してまいります。



AEON Lake Town

【イオン レイクタウン全体の鳥瞰イメージパース】



【レイクタウンゲートのイメージパース】



【「KAZE」の鳥瞰イメージパース】



【「MORI」の鳥瞰イメージパース】



【S C施設概要】

S C 名 称： イオン レイクタウン
所 在 地： 「KAZE」 エリア： 埼玉県越谷市東町4丁目21番地1
「MORI」 エリア： 埼玉県越谷市東町2丁目8番地
[両エリアは約85mの「センターブリッジ（仮称）」でつながります]
S C運営主体： 「KAZE」： イオンモール^株
「MORI」： イオン^株
核 店 舗 名： 「KAZE」： 越谷レイクタウン ビブレ（仮称）
マレエツ越谷レイクタウン店（仮称）
「MORI」： ジャスコ レイクタウン店（仮称）
開 店 日： 2008年10月初旬
(※オープン日は決定次第、速やかにご案内いたします)
建 物 構 造： 鉄筋・鉄骨コンクリート造（一部鉄骨造）地上3階建
専 門 店 数： 500店舗超
駐 車 場： 約8,200台
駐 輪 場： 約6,200台
規 模： 敷 地 面 積： 約26万4,000m²
建物延床面積： 約36万5,000m²
商業施設面積： 約22万1,000m²
商 圈： 車30分圏 約330万人、約140万世帯

【イオン レイクタウン周辺地図】



【イオン レイクタウン配置図】



【本件に関するお問い合わせ先】

イ オ ン 株 式 会 社 コーポレート・コミュニケーション部 TEL 043-212-6061
イオンモール株式会社 経営企画部 TEL 043-212-6733